

【分野】 花き

オリジナルリンドウの高温耐性の把握

【要約】

オリジナルリンドウが市販品種より高温に強いことを明らかにしました。

【背景】

近年は、高温でリンドウの適地ではない市街地近郊の低標高地でのオリジナルリンドウの栽培希望者が多くなっています。そこで、標高23mの赤磐市の圃場でオリジナルリンドウの高温への耐性について検討しました。

【結果】

低標高地では、50%程度の遮光で花の着色不良や葉焼け等の高温障害が減少すること、「岡山RND 5号」と「岡山RND 6号」は、遮光下では市販品種と比べて高温障害の発生が少なく、可販収量が多く、高温耐性を持つことが判明しました。

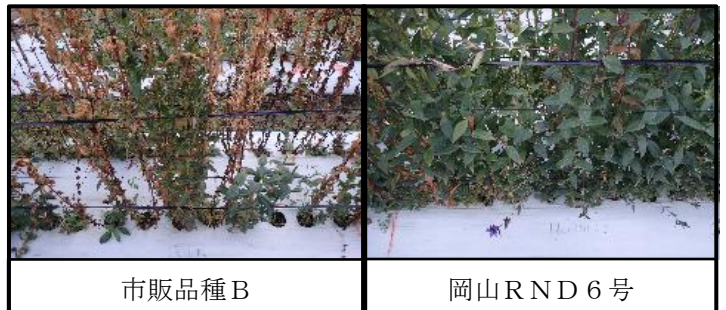
低標高地におけるリンドウの高温障害発生程度と可販収量（50%遮光下、2年生）

早晚性	品種	遮光 有無	開花日 (月/日)	花傷み 段数 (段)	規格外品率 (%)		可販収量 (千本/10a)
					花の 着色不良	葉焼け	
中生	岡山RND 5号	有	8/27	0.2	2	5	43.6
	市販品種A	無	8/22	1.9	12	30	30.1
晩生	市販品種A	有	9/16	1.4	29	49	4.8
	岡山RND 6号	有	10/19	0.0	0	20	33.6
	市販品種B	無	10/14	0.0	0	41	15.5
	市販品種B	有	10/16	0.2	0	61	2.8



市販品種A 岡山RND 5号

収穫した切花（9月3日）



市販品種B

岡山RND 6号

収穫中の葉の状況（10月14日）

担当：農業研究所 野菜・花研究室（086-955-0277）

〔 研究課題名：オリジナルリンドウの高温耐性の把握（R6～7） 〕